

人間の心のしくみと偏見・差別 心理学者から見た感染禍

三浦 麻子 大阪大学大学院人間科学研究科





心理学とは?



心理学とはいかなる学問か

- 心理学とは,人間のさまざまなふるまいの原因として<mark>心</mark>の働きを 仮定し,それを対象とする実証科学である
- 心は直接見えないので、その働きが原因となってどのような結果が生じるかを推論するために行動に手がかりを求め、実証のための証拠を集める
- 典型的には,ある<mark>行動</mark>の原因となる<mark>心</mark>の働きを仮定し,その有無 や程度を人為的に操作した上で<mark>行動</mark>に関するデータを収集・分析 することで,両者の因果関係を明らかにする

心理学実験 Psychological experiment



心理学者から見た感染禍

The Covid-19 Global Pandemic: A Natural Experiment in the Making

David M. Mutch^a

^aDepartment of Human Health and Nutritional Sciences, University of Guelph, Guelph, ON, Canada

As news began to emerge from China in late 2019 of a tween people. But, in the short-term, research that elucinew infectious respiratory disease, nobody realized that dates how the virus spreads, how it infects a person, and we were about to be enrolled into a global natural experiment. To paraphrase Craig et al. [1], a natural experiment aid in the development of effective vaccines. describes an event or intervention not under the control

what factors can modify the severity of infection will all

At the time of writing over half a million people had

https://www.karger.com/Article/FullText/510217

Circulation

Volume 142, Issue 1, 7 July 2020, Pages 14-16 https://doi.org/10.1161/CIRCULATIONAHA.120.047538



PERSPECTIVE

The COVID-19 Pandemic

A Global Natural Experiment

Blake Thomson, DPhil (1)

ver the past several months, the coronavirus disease 2019 (COVID-19) outbreak has rapidly grown to become a global pandemic. Countries, regions, and localities have taken varied and, in many cases, drastic approaches to limit the impact of COVID-19. Governments across the world have issued stay-at-home orders to all of those who are not essential to the conduct of everyday life. Routines have been radically disrupted, with global society undergoing tremendous changes in a very short period of time. Some disruptions may last months, even years. Others

https://www.ahajournals.org/doi/10.1161/CIRCULATIONAHA.120.047538

A Huge Covid-19 Natural Experiment Is **Underway—in Classrooms**

As K-12 students head back to school, epidemiologists are watching for clues about how kids spread the virus, and what can stop it.



https://www.wired.com/story/a-huge-covid-19-natural-experiment-is-underway-in-classrooms/

自然実験 Natural experiment

研究者が意図して参加者を集めたり, 人為的に 原因を操作したりするのではなく,実社会に自 然に生じた現象を観察することによって因果関 係を検証したり,ある原因の有無や程度が結果 に及ぼす影響を比較したりする研究法



これまでの研究で繰り返し頑健に示されてきたのは、

人間は合理的ではない

ということ(もちろん,弁護士の方々はそれをよくご存じですよね)

どういうときにどのような非合理な心理や行動を示すのかを明らかにし、それをふまえた上で社会の安定を目指すには何をどうすればよいかを考える(ための知見を提供する)のが社会心理学者の仕事



人間の心のしくみ

・認知バイアス

- 人間は,論理的に正しくてもそれをくんで理性的に行動するとは限らない
 - 楽観性バイアス: 危機を認識していたとしても自分は大丈夫だろうと思う
 - 正常性バイアス:危機的な事態に瀕しても無視したり過小評価したりする
 - 精緻化見込みモデル: やる気のない時や良く知らないことは熟慮しない
 - ヒューリスティック:熟慮する気や時間がない時は適当そうな選択肢を適当に選ぶ
 - 認知的不協和:心の中の矛盾の解消のためにご都合主義で態度を変える
- ●様々な認知バイアスがあるが, その程度には個人差があり, 状況の影響も強く受ける. 基本的には「考えたいように」考える



人間の心のしくみ

• 社会的現実

- •私たちが「現実」だと認識しているもの
 - 「見たいように」見ているもの
- ●事実とは異なり、唯一不変ではない
 - 認知バイアスという色眼鏡を通して見える現実は事実とは異なり、また、その異なり方は人/状況により多様である

こうしたしくみは人間の進化・適応の産物 つまり「人間らしさ」



人間の心のしくみ

• 社会的現実

- •私たちが「現実」だと認識しているもの
 - 「見たいように」見ているもの
- 事実とは異なり、唯一不変ではない
 - 認知バイアスという色眼鏡を通して見える現実は事実とは異なり、また、その異なり方は人/状況により多様である

こうした「機能」を獲得したがゆえに人類はサバイバルできた しかし,人間らしさは諸刃の剣 役に立つと同時に害悪にもなりうる…そのひとつが差別・偏見

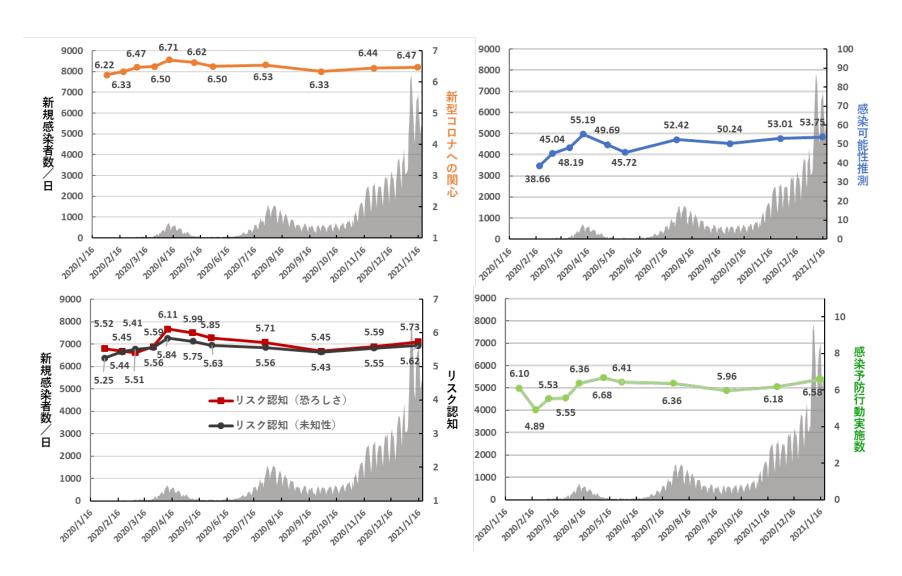


一般市民を対象とするWebパネル調査の結果から1

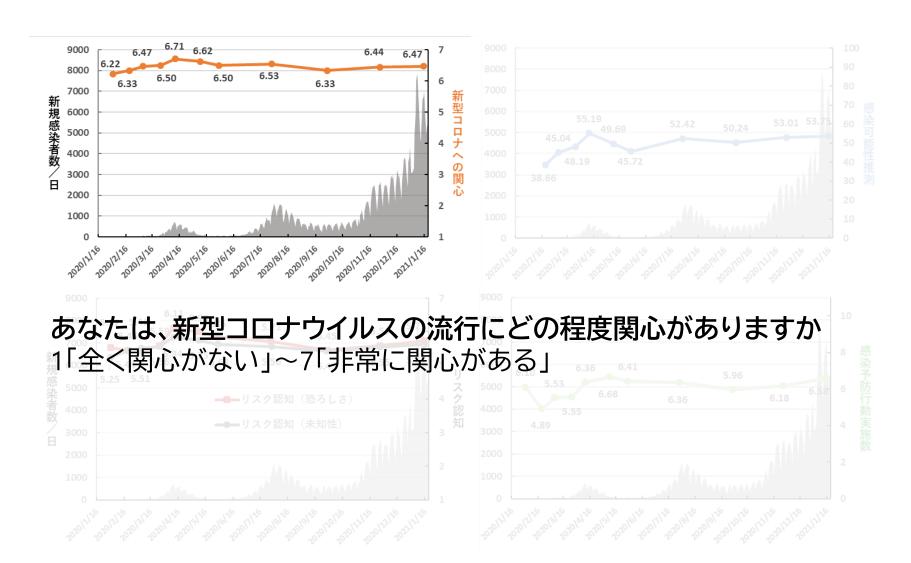


- パネル調査
- ●一定の期間をおいて同じ対象者に同じ質問への回答を求めることで、人心の変化を観察する
- 2020年1月末から2021年1月中旬までに、11回にわたりWeb調査を実施
- ●1248名(うち男性424名,平均37.0歳)からスタートし, 600名(うち男性243名,平均40.3歳)が残存











あなたは、新型コロナウイルスの感染についてどのように感じますか

恐ろしさ 未知性 「死に至る可能性がある」「いつ起きるかわからない」 「気づかないうちに影響を受けているかもしれない」 「どんな影響があるかよくわからない」

1「全く感じない」~7「非常に感じる」



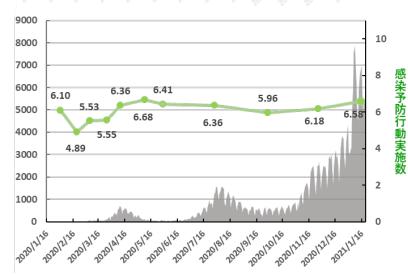
原発の放射能漏れ事故やインフルエン ザについても同じ質問をしているが、 どちらよりもどちらも高い



あなたがしている感染予防のための対策行動についてうかがいます 以下の選択肢の行動を、あなたは現在とっていますか

手洗い,うがい,手のアルコール消毒,マスクを着用する,十分な睡眠をとる,電車やバスなどの公共交通機関の利用を避ける,商業施設など人が多くいる場所への外出を控える,中国人/外国人がよく訪れる観光地への外出を控える,その他

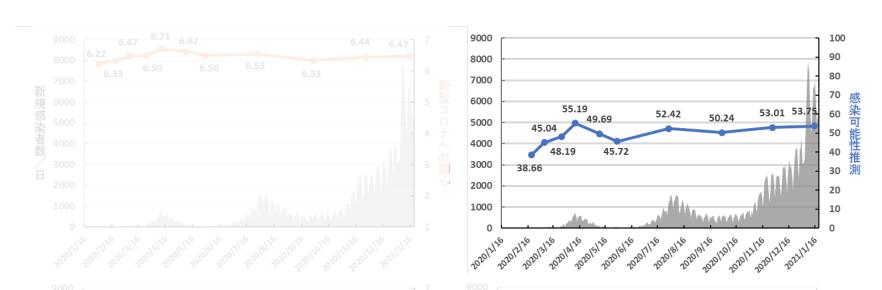








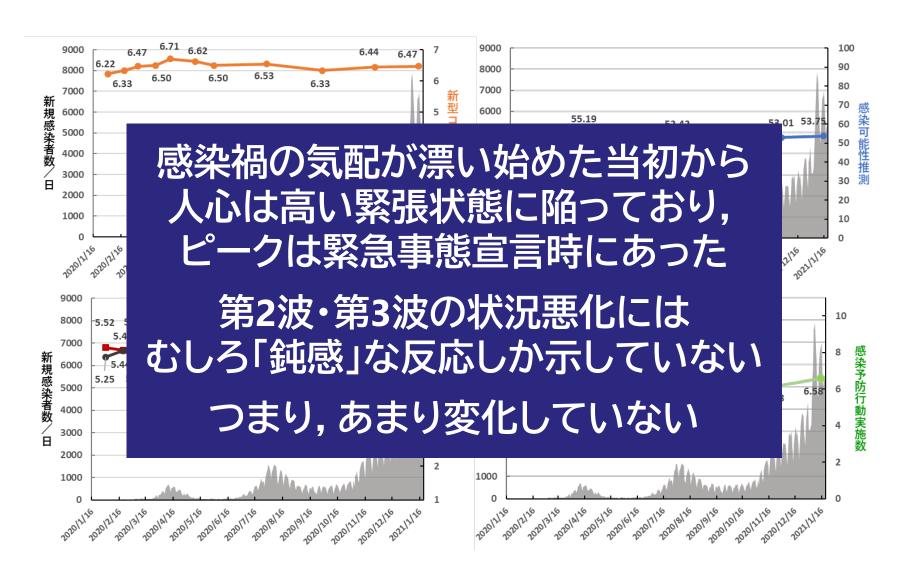




あなた、およびあなたの身の回りに新型コロナウイルスに感染した方はいますか(直接知己:自分·家族·友人·知り合い,直接知己以外:知り合いの知り合い・居住地近接の面識のない人)

	20/3上旬	20/3下旬	20/4上旬	20/5上旬	20/5下旬	20/7下旬	20/9下旬	20/11下旬	21/1中旬
いる	4.9	6.6	15.4	15.1	14.8	26.8	30.0	33.9	39.2
→直接知己	0.3	0.2	1.7	1.6	1.4	6.5	5.8	5.1	7.5
→直接知己以外	4.6	6.4	14.1	14.1	13.8	23.1	26.9	30.8	33.5
いない	95.1	93.4	84.6	84.9	85.2	73.2	70.0	66.1	60.8







一般市民を対象とするWebパネル調査の結果から2



•以下の項目は、あなたが抱く「…」への印象にどれぐらい当てはまりますか(1~7)

対象	ムカつく	恐ろしい	信用できる
友人	2.09	2.03	5.58
外出先で会った知らない人	3.05	3.31	3.38
日本人	3.12	3.21	4.25
中国人	4.21	4.33	2.54
外国人	3.03	3.59	3.47
新型コロナウイルス感染者	2.66	4.49	3.70
自粛要請に応じない人	5.25	4.99	2.09

※2020年5月末調査結果;同年5月上旬にも質問しているが,ほとんど違いなし



•次の人々は、あなたにとってどのくらい「...」ですか(0-10)

対象	仲間	配慮(思いやり) 対象	避けたい 対象
家族	9.30	9.22	0.86
友人	8.13	8.14	1.98
外出先で会った知らない人	2.79	4.72	6.01
日本人	4.29	5.21	4.86
中国人	1.78	3.20	7.33
外国人	2.31	3.81	6.78
新型コロナウイルス感染者	3.21	4.64	6.15
自粛要請に応じない人	1.44	1.86	8.03

※2021年1月末調査結果;2020年7月末から質問しているが,ほとんど変化なし



対象	ムカつく	恐ろしい	信用 できる	仲間	配慮 ^(思いやり) 対象	避けたい 対象
日本人	3.12	3.21	4.25	4.29	5.21	4.86
新型コロナ ウイルス感染者	2.66	4.49	3.70	3.21	4.64	6.15
自粛要請に 応じない人	5.25	4.99	2.09	1.44	1.86	8.03

•感染者は「不快」というよりは「怖い」存在

- 感染を避けたいがゆえのこうした感情を否定すべきではない
- 否定すべきはその「誤作動」としての不合理な偏見・差別
- 人間が決して合理的ではないことを考えれば、 特に努力して避ける必要がある



感染禍における人心の差異

日本の特徴を諸外国との差異で検討する国際比較調査の結果から



感染禍における人心の差異

- •国際比較調査
- ●異なる国の人々に同じ質問への回答を求めることで 人心の差異を観察し、日本の特徴を知る
- 2020年3月末~4月下旬(400-500名規模)/8月上旬(800-1000名規模)に日米英伊中/日米英でWeb調査を実施



感染は本人のせい

新型コロナウイルスに感染した人がいたとしたら、それは本人のせいだと思う

If anyone had been infected with the Coronavirus (COVID-19), I think it was their fault.

Se una persona è stata infettata dal nuovo coronavirus, penso che sia stata colpa sua.

如果有人感染新冠肺炎, 那也是他们自己的责任

新型コロナウイルスに感染する人は、自業自得だと思う

I think anyone who gets infected with the Coronavirus (COVID-19) got what they deserved.

Penso che se una persona è stata infettata dal nuovo coronavirus, abbia ottenuto ciò che meritava.

我认为感染新冠肺炎的人是自作自受

「1: まったくそう思わない」~「6: 非常にそう思う」



「自粛警察」の容認

非常時には、他の人たちが政府の方針に従っているか、一人ひとりが見張るべきである

In emergencies, every citizen should watch over to ensure that government policies are respected.

In situazioni di emergenza, ogni cittadino deve vigilare affinché siano rispettate le disposizioni del governo.

在非常时期,人们应该监视他人有没有按照政府方针行动

非常時には、他の人たちを政府の方針に従わせるために、個々人の判断で行動を起こして良い

In emergencies, every citizen can autonomously take action to ensure that government policies are respected.

In situazioni di emergenza, ogni cittadino può agire di propria iniziativa per fare rispettare le disposizioni del governo.

在非常时期,每个人都应该自发采取行动,以促使他人按照政府方针行动

「1: まったくそう思わない」~「4: どちらともいえない」~「7: 非常にそう思う」



国際比較結果

調査	感染は本人のせい「自粛警察」の容認
時期	日光英伊中中
3-4月	2.28 1.50 1.41 1.67 1.77 3.18 4.82 5.48 3.87 5.82
8月	2.50 1.99 1.69 2.87 4.88 4.78

その後も機会があるごとに「感染は本人のせい」データを取り続けているが, 傾向に変化は見られない

相関係数(両者の関連の強さを示す指標で,絶対値が1に近いほど関連が強い)

3-4月:日本(0.24)とイタリア(0.16)では正の関連,他の3国は関連なし

8月:日本(0.26)では正の関連,米英は関連なし



国際比較結果

調査	感染は本人のせい「自粛警察」の容認
時期	日光英伊中中
3-4月	2.28 1.50 1.41 1.67 1.77 3.18 4.82 5.48 3.87 5.82
8月	2.50 1.99 1.69 2.87 4.88 4.78

日本人は諸外国よりも「感染は本人のせい」と思う傾向が強い(そう答える比率が相対的に高い)

そう思う傾向が「自粛警察」を容認する傾向とある程度連動していることも日本の特徴



まとめ

- ワクチン接種が普及かつ功を奏する,あるいは感染がさらに蔓延してしまうようなら,感染者が偏見・差別に遭うケースは少なくなっていくだろう
- しかしそれで問題解決というわけではなく、ターゲットが別の弱者に移るだけであれば、何ら構図は変わらない
- 持続的な「社会(人々の考え方(の平均値))を動かしていく努力」が必要.今後この感染禍が急に消えてなくなるわけではないし、また別の新たな非常事態が生じることも十分にありえる
- ●差別のような社会的な「病気」については「モグラたたき」で済ませない取り組みが必要
- その際,人間の心のしくみを考慮し、その様態を常時把握することは必要かつ有効